

---

東御市  
環境についての事業所アンケート調査

報告書

---

令和7年9月

## 目次

<b>1 調査の概要 .....</b>	<b>1</b>
(1)調査目的.....	1
(2)対象と回答状況.....	1
(3)その他.....	1
<b>2 詳細結果 .....</b>	<b>2</b>
(1)回答事業所について .....	2
(2)環境活動に対する事業所の考え方 .....	4
(3)環境に対する事業所の活動状況.....	7
<b>3 資料編 .....</b>	<b>11</b>
(1)調査票 .....	11

# 1 調査の概要

## (1)調査目的

東御市環境基本計画の策定にあたり、事業所と協働した効果的な環境施策を検討するため、市内事業所における環境配慮や脱炭素に関する考え方・取り組み状況を把握することを目的に実施した。

## (2)対象と回答状況

環境施策の推進にあたっては、特にエネルギー消費の大きい事業所との協働が重要となる。そこで市内に営業所のある事業所のうち、従業員数の多い事業所や環境市民会議で寄せられた意見を反映し 237 事業所を抽出した。

設問は Web フォームで作成し、Web フォームの URL および二次元コードを記載したハガキを郵送して回答を依頼した。また、未回答の事業所へは電子メールによる回答の督促を行った。最終的な回答状況は下記のとおりです。

回答期間	2025 年 7 月 25 日～2025 年 8 月 20 日
対象	237 事業所（市内の従業員数が多い事業所や環境市民会議で寄せられた意見を反映）
実施方法	ハガキで依頼し、WEB フォームで回答
回収数	59 事業所
回収率	24.9%

## (3)その他

- ◆ 回答結果の割合「%」は、有効回答数に対してそれぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入している。そのため、単数回答であっても合計が 100.0% にならない場合がある。
- ◆ 図表中の「n」は Number of case の略で、該当質問の回答者数を表す。なお、無回答があるため設問ごとに回答者数が異なる場合がある。
- ◆ 図表のタイトルや選択肢は、簡略化している場合がある。

## 2 詳細結果

### (1)回答事業所について

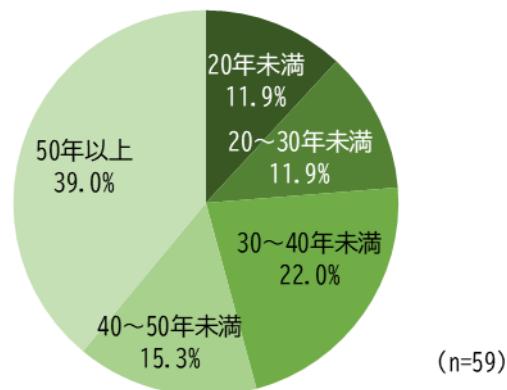
\*回答者は、長年事業を行っている中小企業で製造業・建設業の比率が高い

- ・経営年数は、「50年以上」が39.0%となっており、長年事業を行っている事業所の回答が多くなっています。
- ・従業員数は、小規模企業とされる「20人未満」が約6割、中規模企業とされる「20人以上300人以下」が約4割となっています。
- ・売上高では、「1億円未満」と「1~5億円」が約3割、「5億円~10億円未満」が約15%、「10億円以上」が約25%となっています。

図表1 事業所の概要【問1】

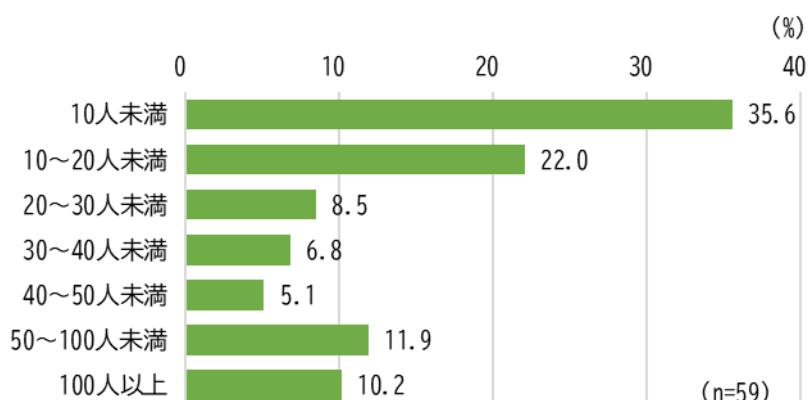
#### (1)経営年数

	度数	%
20年未満	7	11.9
20~30年未満	7	11.9
30~40年未満	13	22.0
40~50年未満	9	15.3
50年以上	23	39.0
合計	59	100.0



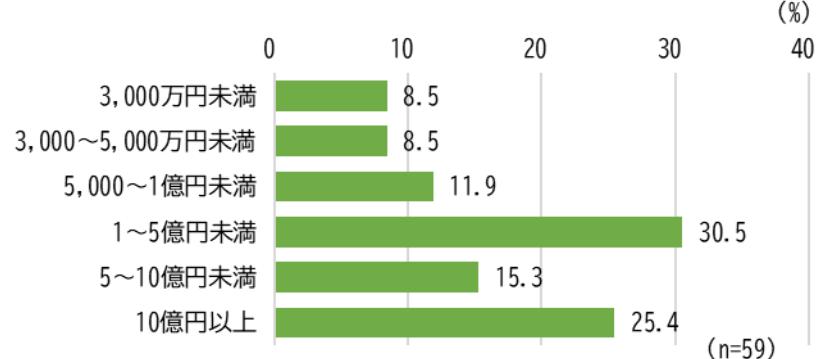
#### (2)従業員数

	度数	%
10人未満	21	35.6
10~20人未満	13	22.0
20~30人未満	5	8.5
30~40人未満	4	6.8
40~50人未満	3	5.1
50~100人未満	7	11.9
100人以上	6	10.2
合計	59	100.0



#### (3)売上高

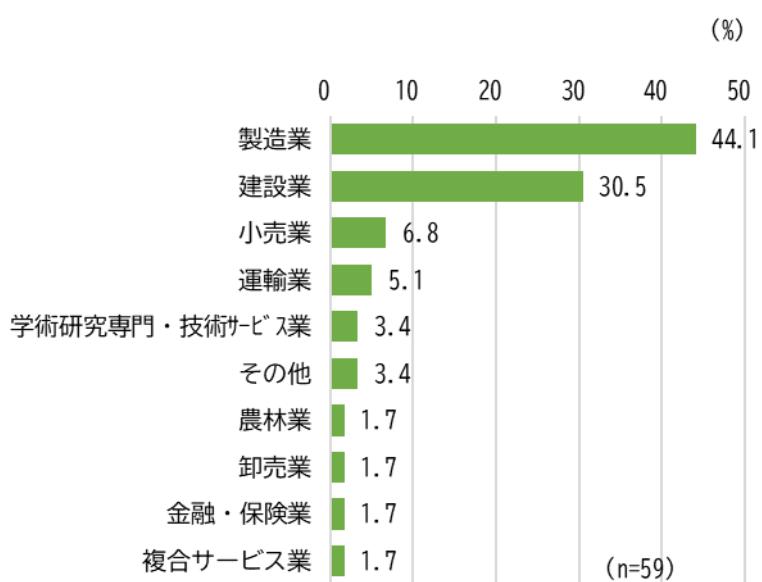
	度数	%
3,000万円未満	5	8.5
3,000~5,000万円未満	5	8.5
5,000~1億円未満	7	11.9
1~5億円未満	18	30.5
5~10億円未満	9	15.3
10億円以上	15	25.4
合計	59	100.0



- 主力事業の内容は、「製造業」が44.1%、次いで「建設業」が30.5%となっており、この2業種で回答者の74.6%を占めています。

図表2 主力事業の内容【問2】

	度数	%
製造業	26	44.1
建設業	18	30.5
小売業	4	6.8
運輸業	3	5.1
学術研究専門・技術サービス業	2	3.4
その他	2	3.4
農林業	1	1.7
卸売業	1	1.7
金融・保険業	1	1.7
複合サービス業	1	1.7
合計	59	100.0



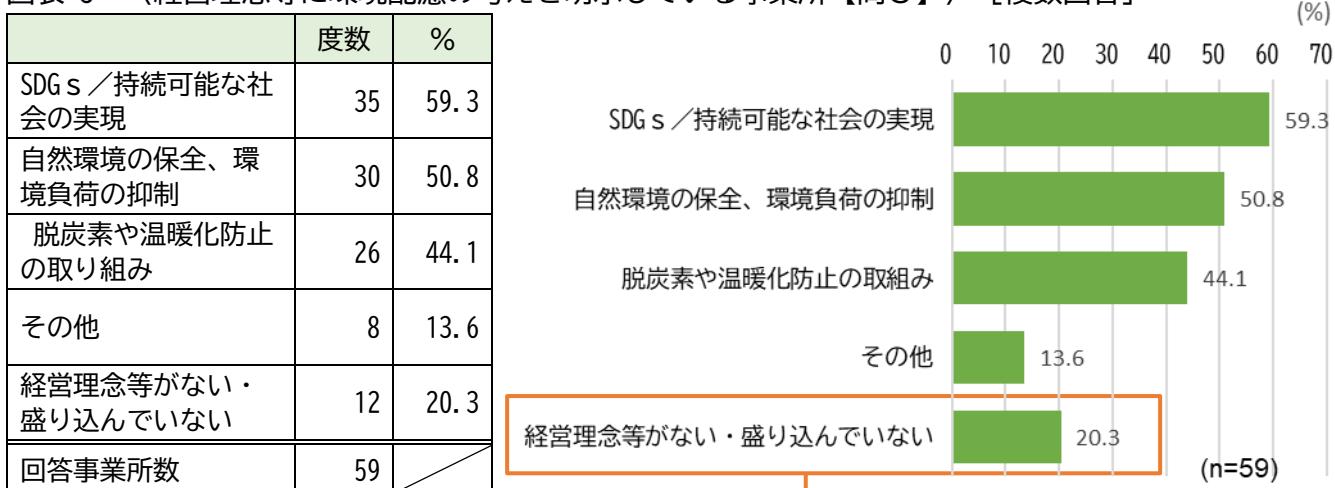
## (2)環境活動に対する事業所の考え方

### ○事業所の経営理念や方針、事業計画等について

#### \* 8割近い事業所が経営理念や計画に環境配慮を明示している

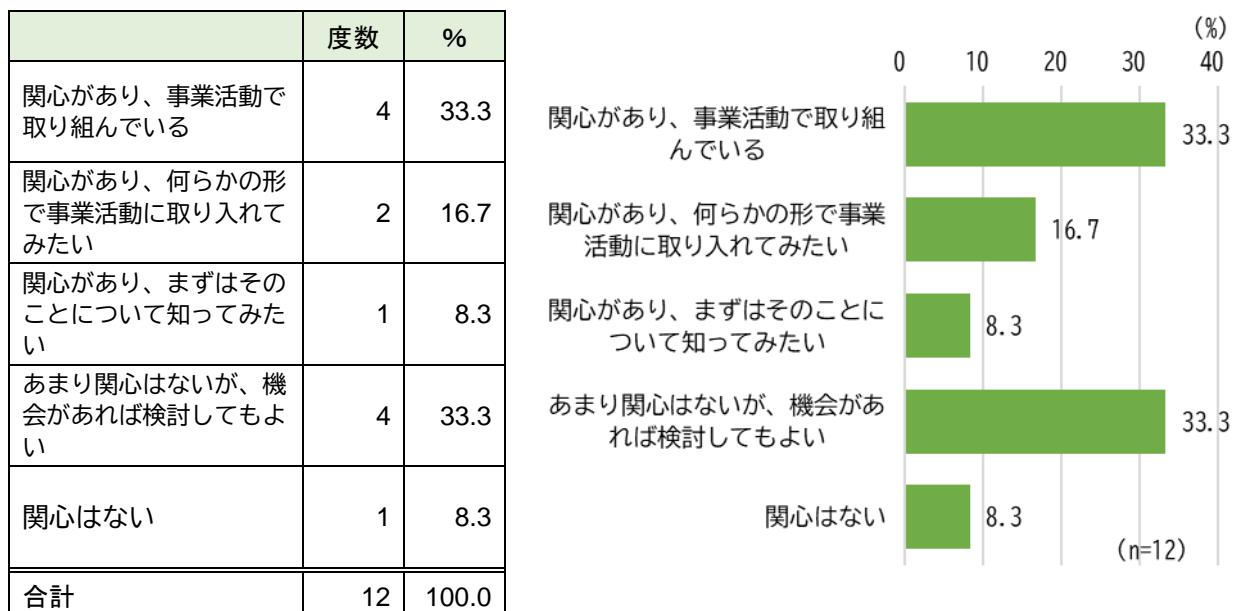
- ・経営理念等に何らかの環境配慮の考えを明示している事業所は、「経営理念などがない・盛り込んでいない（20.3%）」を除いた 79.7%となっています。
- ・明示していない事業所のうち、「環境にやさしい事業運営に関心がない」の回答は 8.3%で、すでに取り組んでいるか機会があれば検討したいという事業所が 9割以上となっています。

図表 3 〈経営理念等に環境配慮の考え方を明示している事業所【問3】〉 [複数回答]



【問3】で「経営理念等に環境配慮の考え方を明示していない」という事業所

図表 4 〈「環境にやさしい事業経営」への関心【問3-①】〉

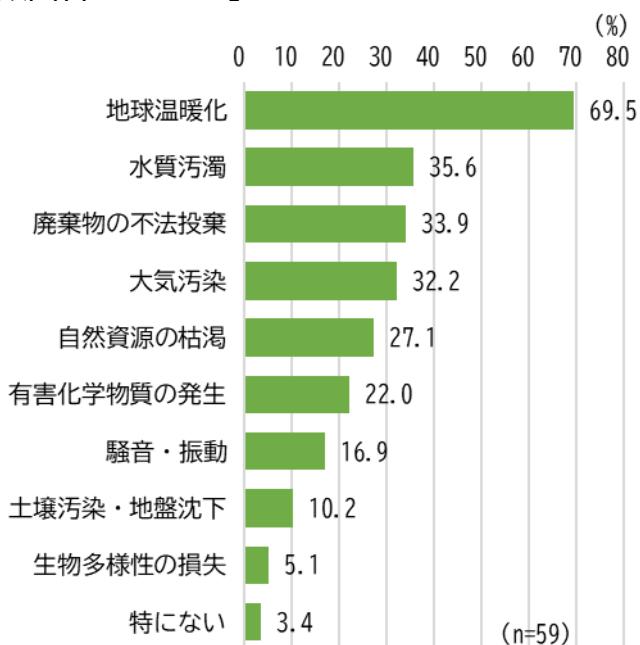


## ○環境問題への関心について

- ・関心が高い環境問題は、「地球温暖化」が69.5%と他よりも高い水準にあり、水質汚濁、廃棄物の不法投棄、大気汚染もそれぞれ3割を超えていました。

図表 5 <関心の高い環境問題【問4】> [複数回答 3つまで]

	度数	%
地球温暖化	41	69.5
水質汚濁	21	35.6
廃棄物の不法投棄	20	33.9
大気汚染	19	32.2
自然資源の枯渇	16	27.1
有害化学物質の発生	13	22.0
騒音・振動	10	16.9
土壤汚染・地盤沈下	6	10.2
生物多様性の損失	3	5.1
特にない	2	3.4
回答事業所数	59	/



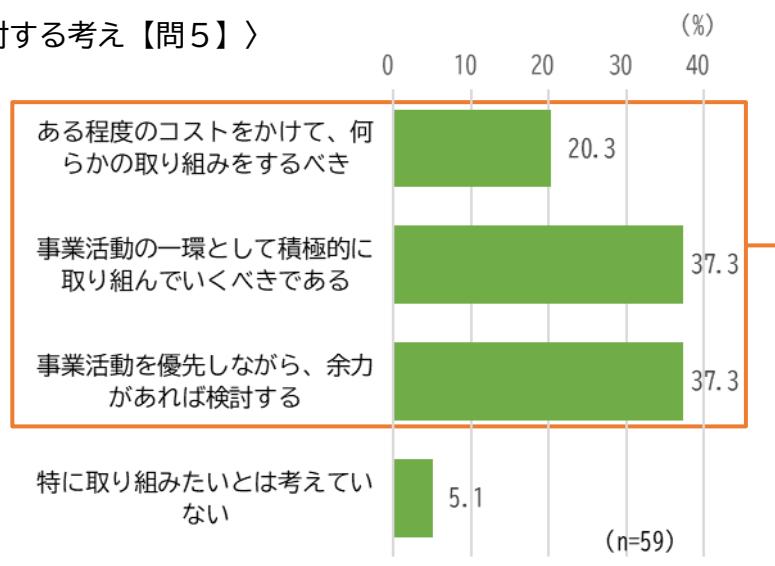
## ○環境配慮や脱炭素の活動に対する考え方について

### \*環境配慮や脱炭素の活動に対して積極的である

- 環境配慮や脱炭素の活動について、「特に取り組みを考えたいとは考えていない」は 5.1%であり、今回の回答事業所の 9割以上が取り組んでいるか、意向を持っています。「ある程度のコストをかけても取り組むべき」という回答は約 2割、「事業活動の一環として積極的に取り組むべき」は約 4割となっています。

図表 6 <環境配慮や脱炭素の活動に対する考え方【問5】>

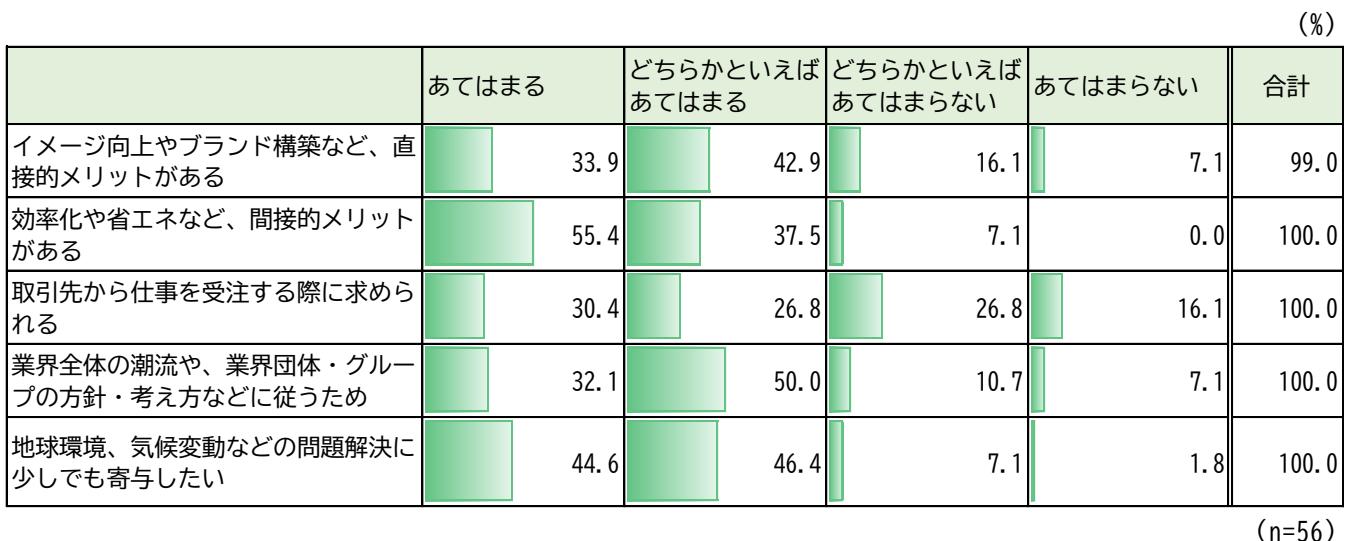
	度数	%
ある程度のコストをかけて、何らかの取り組みをするべき	12	20.3
事業活動の一環として積極的に取り組んでいくべきである	22	37.3
事業活動を優先しながら、余力があれば検討する	22	37.3
特に取り組みたいとは考えていない	3	5.1
合計	59	100.0



### 環境配慮や脱炭素の活動に取り組む理由

- 自事業所のメリットが動機である割合は「効率化や省エネなど間接的メリットがある」(55.4%) 「イメージ向上やブランド構築など直接的メリットがある」(33.9%)となっています。また、対外的な理由が動機となっている割合は「業界・取引先から求められる」(30.4%) 「業界全体の潮流や、業界団体・グループの方針・考え方などに従うため」(32.1%)となっています。一方で「地球環境・気候変動の問題解決に寄与したい」は(44.6%)となっています。

図表 7 <環境配慮や脱炭素の活動に取り組む理由(動機)【問5-①】>



### (3)環境に対する事業所の活動状況

#### ○環境配慮・脱炭素の活動状況について

\*投資不要の「節電・再利用等」は活発。施設・設備投資は意向あっても実施できていない

- 「実施している」では多いものは「節電」(89.8%)に次いで「リサイクルにむけた分別の徹底」(83.1%)となっています。一方少ないものは「輸送や移動手段における鉄道や船の活用」(6.8%)「カーボン・クレジットの購入による削減活動への投資」(10.2%)となっています。
- 「意向はあるが実施に至っていない」で多いものは「取引企業等と連携した環境に配慮したルールの策定」(59.3%)「再生可能エネルギー由来の電力を購入」(49.2%)となっています。
- 「実施する必要性を感じない」で多いものは、「カーボン・クレジットの購入による削減活動への投資」(30.5%)「植林や間伐材の使用など森林再生事業への協力」(23.7%)となっておりCO<sub>2</sub>削減に関する部分が多くなっています。

図表 8 <日常業務の中で実施している環境配慮・脱炭素の活動【問6】>

		(%)					
		実施している	実施に向けて検討を始めたい	意向はあるが実施に至っていない	制約があり実施できない	実施する必要性を感じない	合計
省エネ	節電を励行	89.8	1.7	0.0	5.1	3.4	100.0
	紙など消耗品を節約	81.4	8.5	0.0	6.8	3.4	100.0
	消費電力の低い機器の導入	64.4	15.3	0.0	18.6	1.7	100.0
	窓断熱や壁や屋根への断熱塗料の塗布	22.0	20.3	47.5	6.8	3.4	100.0
	電力消費のピークシフト、ピークカットの実施	16.9	15.3	44.1	20.3	3.4	100.0
ごみ削減	プラスチック使用製品排出物の減量	39.0	11.9	37.3	6.8	5.1	100.0
	リサイクル品の利用	72.9	5.1	16.9	3.4	1.7	100.0
	リサイクルにむけた分別の徹底	83.1	5.1	10.2	0.0	1.7	100.0
	梱包、包装の簡素化	39.0	18.6	28.8	8.5	5.1	100.0
CO <sub>2</sub> 削減	緑のカーテンや敷地内の緑化	37.3	15.3	33.9	6.8	6.8	100.0
	輸送や移動手段における鉄道や船の活用	6.8	10.2	32.2	30.5	20.3	100.0
	カーボン・クレジットの購入による削減活動への投資	10.2	5.1	44.1	10.2	30.5	100.0
	植林や間伐材の使用など森林再生事業への協力	15.3	20.3	28.8	11.9	23.7	100.0
	取引企業等と連携した環境に配慮したルールの策定	15.3	3.4	59.3	11.9	10.2	100.0
再生エネルギー	エコカーを導入	37.3	6.8	42.4	8.5	5.1	100.0
	太陽光発電を導入	45.8	3.4	33.9	10.2	6.8	100.0
	再生可能エネルギー由来の電力を購入	13.6	6.8	49.2	22.0	8.5	100.0
啓発	従業員等への省エネ・環境配慮についての教育	57.6	13.6	25.4	0.0	3.4	100.0
	顧客・消費者への環境配慮活動への協力や理解の促進	32.2	11.9	47.5	3.4	5.1	100.0

※橋例で、値が1番高いもの=太字 2番目に高いもの=太字 値が1番小さいもの=斜字 2番目に小さいもの=斜字

(n=59)

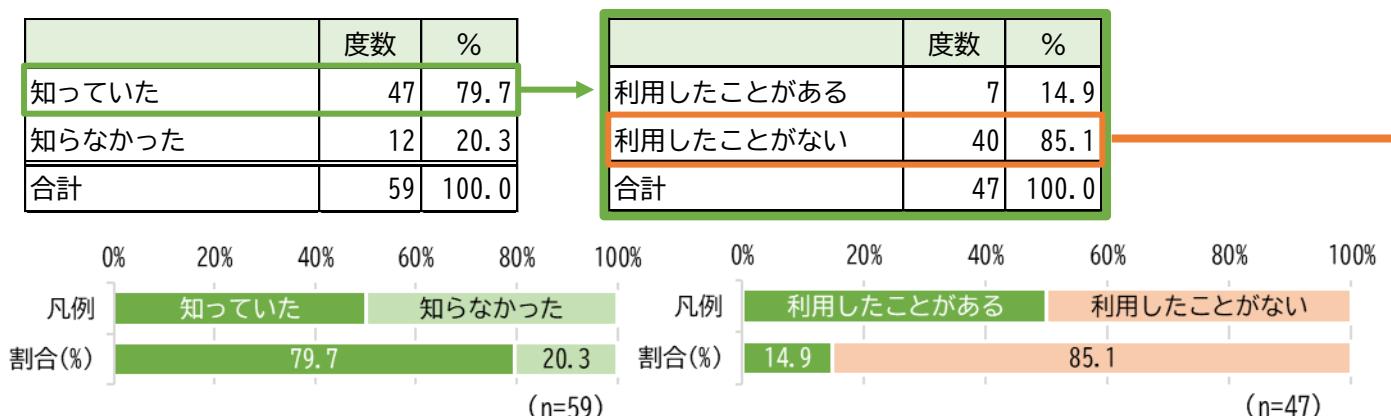
## ○東御市の補助事業について

### \*太陽光発電設備や定置型蓄電池の補助事業の認知は高いが利用は少ない

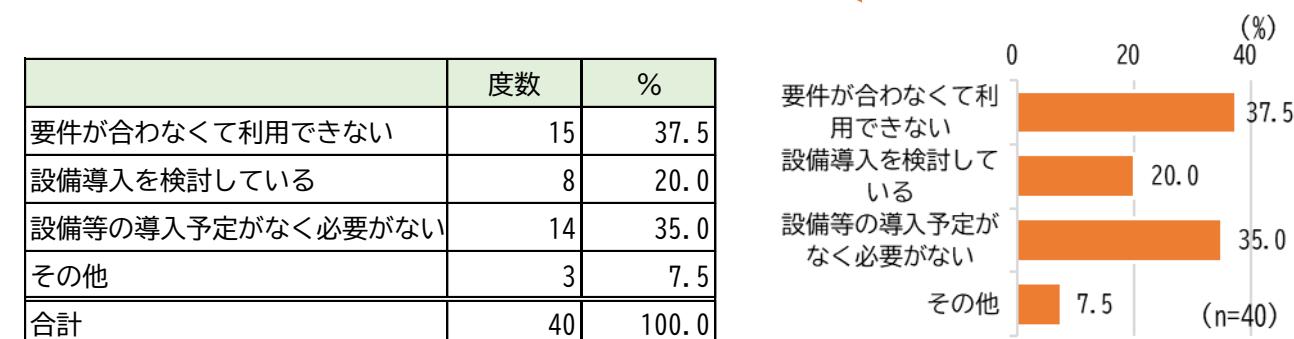
- 補助事業を「知っていた」は 79.7%でしたが「利用したことがある」は 14.9%となっています。
- 利用したことがない理由は「要件が合わなくて利用できない」が 37.5%となっています。
- 補助事業を利用したことない層でも「設備等の導入を検討していて詳しく知りたい」という回答が 60% あり、このうち市からの説明を求めたいという回答は 58.3% となっています。

図表 9 <「太陽光発電設備」や「定置型蓄電池」の設置について補助事業の認知【問7】>

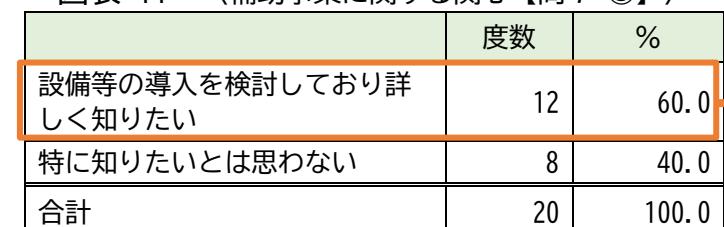
〈補助事業の利用実績【問7-①】〉



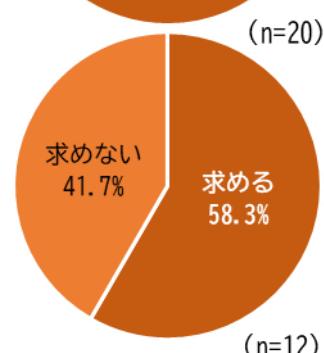
図表 10 <補助事業を利用したことがない理由【問7-②】>



図表 11 <補助事業に関する関心【問7-③】>



図表 12 <補助事業に関する説明の要否【問7-④】>

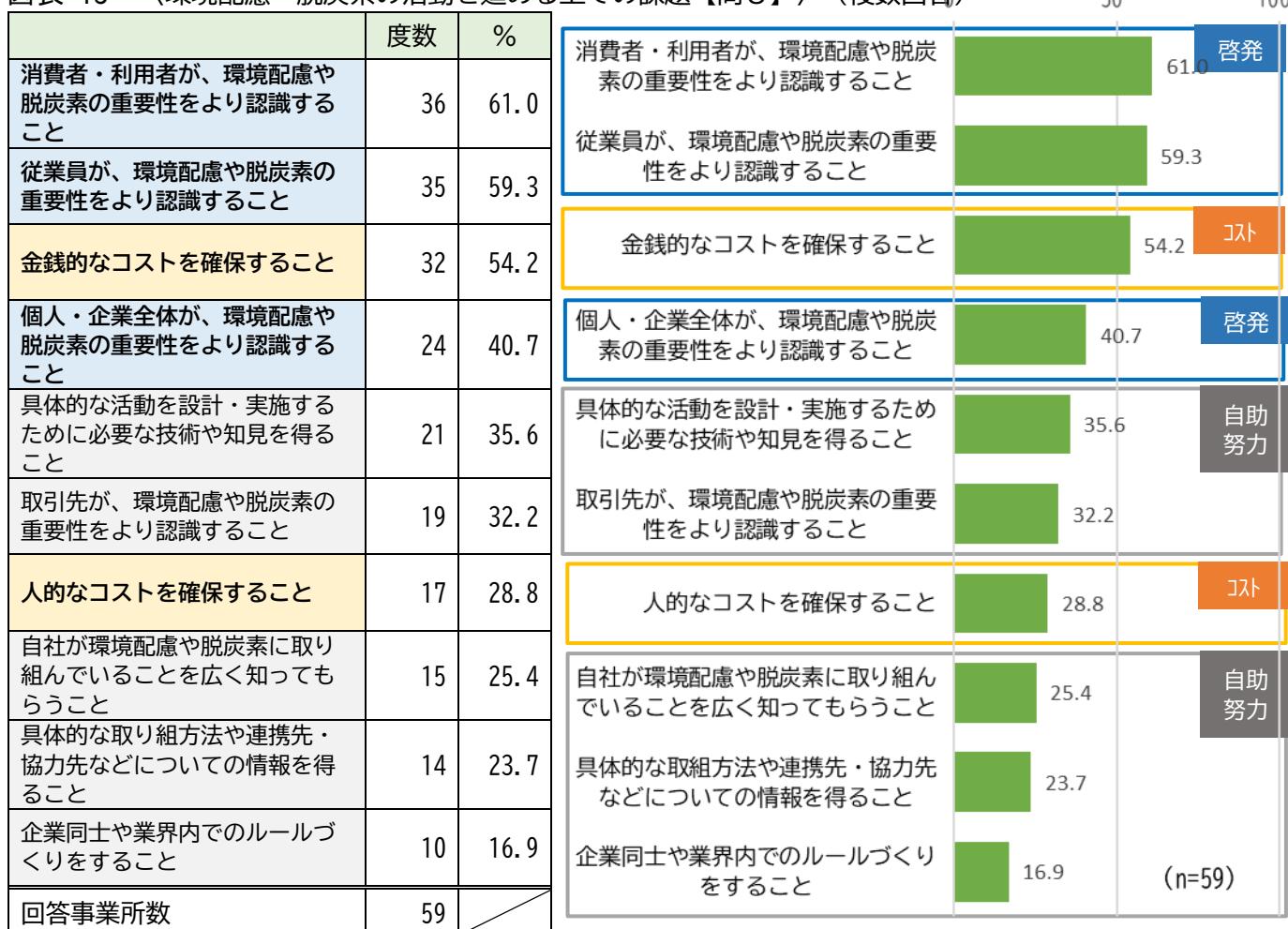


## ○環境配慮や脱炭素の活動を進める際の課題について

### 環境配慮・脱炭素の活動を進めるには、消費者や従業員の意識改革が必要

- 課題の上位には「啓発」(青色の囲み)があり、「消費者・利用者が、環境配慮や脱炭素の重要性をより認識すること」が 61.0%、次いで「従業員が、環境配慮や脱炭素の重要性をより認識すること」 59.3%となっています。
- 課題として「コスト」(黄色の囲み)もあがっており、「金銭的なコストを確保すること」が 54.2%で、「人的なコストを確保すること」は 28.8%となっています。
- 事業所自体の変革や、業界内でのルールづくりなどの「自社・業界の努力」(灰色の囲み)の課題は、比較的下位にあります。

図表 13 〈環境配慮・脱炭素の活動を進める上での課題【問8】〉（複数回答）



## その他の意見・アイデア(自由記述)

主力事業	経営年数	自由記述
建設業	45～50 年 未満	東御市で廃油の再利用などあるかと思いますが、現在、法人会でペットボトルキャップを集めてワクチンに変える取り組みを昨年から始めましたが、そういった、ただゴミにするのではなく、市民や事業所も楽しんだり活用できる取り組みをできるようにしたら良いかと思います。どうしても企業は何でも産業廃棄物になってしまったり、経費が掛かったりします。何とかならないかと・・・日々考えております。何かビックリする事を東御市でやってもらいたいです。
小売業	20～25 年 未満	太陽光発電の補助率を挙げてほしい。
製造業	50 年以上	取り組みの具体例と根拠を明記したものをオープンにしていけたらと思います。
建設業	35～40 年 未満	維持ができない、管理がかかる、落葉が迷惑、などと言って森林や樹木をなくしておきながら、環境配慮だ、太陽光だ、温暖化対策だ、などと口だけ言葉だけのやってますアピールに疲弊している。結局はまず人工物を減らして植物を増やさない限り解決に向かっていかない。
製造業	5年未満	人材不足

### 3 資料編

#### (1)調査票

## 東御市 環境についての事業所アンケート調査 調査票

(Web 画面の TOP に表示するテキスト)

### 東御市 環境についての事業所アンケート調査

このアンケートは、市内に所在する事業所にお願いしております。本社が市外にある場合も、調査依頼ハガキの宛先の事業所の責任者の方がご回答いただきますようお願いします。  
それでは、どうぞよろしくお願ひいたします。

URL : <https://questant.jp/q/seikan>



#### I 貴事業所について

【問1】 貴事業所の概要をご記入ください。  
経営年数・従業員数・売上額は、東御市に所在する事業所のみについてお答えください。

貴事業所の名称		
連絡先	TEL	
	E-Mail	
所在地	所在地	
	本社の所在地 (あれば)	
経営年数	(2025年4月1日現在)	
	1. 5年未満	2. 5~15年未満
	3. 15~20年未満	4. 20~25年未満
	5. 25~30年未満	6. 30~35年未満
	7. 35~40年未満	8. 40~45年未満
9. 45~50年未満	10. 50年以上	
従業員数	(2025年4月1日現在)	
	1. 10人未満	2. 10~20人未満
	3. 20~30人未満	4. 30~40人未満
	5. 40~50人未満	6. 50~100人未満
	7. 100人以上	
売上額	(直近の決算年度額)	
	1. 500万円未満	2. 500~1,000万円未満
	3. 1,000~1,500万円未満	
	4. 1,500~2,000万円未満	5. 2,000~2,500万円未満
	6. 2,500~3,000万円未満	7. 3,000~5,000万円未満
	8. 5,000万円~1億円未満	9. 1~5億円未満
	10. 5~10億円未満	11. 10億円以上

【問2】 主力事業の内容を選択してください。  
(1つに○)

1. 農林業	2. 建設業	3. 製造業	4. 卸売業
5. 小売業	6. 電気ガス熱供給水道業		7. 情報通信業
8. 運輸業	9. 金融・保険業	10. 不動産業	11. 飲食店・宿泊業
12. 医療・福祉	13. 学術研究専門・技術サービス業		14. 教育・学習支援業
15. 生活関連サービス業・娯楽業		16. 複合サービス業	17. その他

## II 貴事業所の環境活動に対するお考えについて

【問3】 貴事業所の経営理念や方針、事業計画等について、当てはまるものを選択してください。  
(あてはまるすべてに○)

1. 「SDGs／持続可能な社会の実現」にかかることを盛り込んでいる
2. 「自然環境の保全、環境負荷の抑制」にかかるなどを盛り込んでいる
3. 「脱炭素や温暖化防止の取組み」にかかるなどを盛り込んでいる
4. その他、「環境問題・社会問題の解決」にかかるなどを盛り込んでいる  
(具体的な内容：  
))
5. 経営理念や方針、計画がない・盛り込んでいない →問3-①へ

【問3-①】 問3で「5. 経営理念や方針、計画がない・盛り込んでいない」を選んだ事業所に伺います。  
「環境にやさしい事業経営」を推進していくことが、事業所のイメージの向上等に有効であるといわれています。貴事業所ではこうした「環境にやさしい事業経営」に関心がありますか。

(1つに○)

1. 関心があり、事業活動で取り組んでいる
2. 関心があり、何らかの形で事業活動に取り入れてみたい
3. 関心があり、まずはそのことについて知ってみたい
4. あまり関心はないが、機会があれば検討してもよい
5. 関心はない

以下の質問では、東御市に所在する事業所のお考えをお伺いしています。町外に本社・支社等がある場合でも、東御市の事業所のみについてお答えください。

【問4】 貴事業所が関心の高い環境問題はどれですか。(最大3つまで選んで番号に○)

1. 大気汚染	2. 水質汚濁	3. 騒音・振動
4. 土壌汚染・地盤沈下	5. 有害化学物質の発生	6. 廃棄物の不法投棄
7. 自然資源の枯渇	8. 生物多様性の損失	9. 地球温暖化
10. その他 ( )		11. 特にない

【問5】 貴事業所では、環境配慮や脱炭素の活動に対して現在どのようにお考えですか。最もあてはまるものを選んでください。(1つに○)

- 1. 事業活動の一環として積極的に取り組んでいくべきである
- 2. ある程度のコストをかけて、何らかの取り組みをするべきである
- 3. 事業活動を優先しながら、余力があれば検討する
- 4. 特に取り組みたいとは考えていない
- 5. その他 ( )

→問7-①へ

問5-① 問5で1~3を選んだ事業所に伺います。

貴事業所が環境配慮や脱炭素の活動に取り組むとき、その理由（動機）はなんですか。

以下それについて、最もあてはまるものを1つずつ選んでください。

	あ て は ま る	ど ち ら か と い え ば あ て	ど ち ら か と い え ば あ て は ま ら な い	あ て は ま ら な い
1. イメージ向上やブランド構築など、直接的メリットがあると思うから	1	2	3	4
2. 効率化や省エネなど、間接的メリットがあると思うから	1	2	3	4
3. 取引先から仕事を受注する際に求められるから	1	2	3	4
4. 業界全体の潮流や、業界団体・グループの方針・考え方などに従うため	1	2	3	4
5. 地球環境、気候変動などの問題解決に少しでも寄与したいから	1	2	3	4

■上記以外で、貴事業所として環境配慮や脱炭素に取り組む理由（動機）があれば教えてください。

### III 貴事業所が行う環境活動について

【問6】 貴事業所では、日常業務の中で、どのような環境配慮・脱炭素の活動を実施していますか。それぞれの活動について、1～4で最も当てはまるものを1つだけ○で囲んでください。

		実施している	実施に向けて検討を始めたい	意向はあるが実施に至っていない	制約があり実施できない	実施する必要性を感じない
省エネ	1. 節電を励行	1	2	3	4	5
	2. 紙など消耗品を節約	1	2	3	4	5
	3. 消費電力の低い機器の導入	1	2	3	4	5
	4. 窓断熱や壁や屋根への断熱塗料の塗布	1	2	3	4	5
	5. 電力消費のピークシフト、ピークカットの実施	1	2	3	4	5
ごみ削減	6. プラスチック使用製品排出物の減量	1	2	3	4	5
	7. リサイクル品の利用	1	2	3	4	5
	8. リサイクルにむけた分別の徹底	1	2	3	4	5
	9. 梱包、包装の簡素化	1	2	3	4	5
CO <sub>2</sub> 削減	10. 緑のカーテンや敷地内の緑化	1	2	3	4	5
	11. 輸送や移動手段における鉄道や船の活用	1	2	3	4	5
	12. カーボン・クレジットの購入による削減活動への投資	1	2	3	4	5
	13. 植林や間伐材の使用など森林再生事業への協力	1	2	3	4	5
	14. 取引企業等と連携した環境に配慮したルールの策定	1	2	3	4	5
再生エネ	15. エコカーを導入	1	2	3	4	5
	16. 太陽光発電を導入	1	2	3	4	5
	17. 再生可能エネルギー由来の電力を購入	1	2	3	4	5
啓発	18. 従業員等への省エネ・環境配慮についての教育	1	2	3	4	5
	19. 顧客・消費者への環境配慮活動への協力や理解の促進	1	2	3	4	5

【問7】 東御市では「太陽光発電設備設」や「定置型蓄電池」を設置した場合に、その購入費用と工事費について補助する事業を行っています。この事業について知っていましたか。

1. 知っていた      2. 知らなかった

問7-① 問7で 「1. 知っていた」と回答した方はお答えください。

1. 利用したことがある      2. 利用したことがない

問7-② 問7-①で 「2. 利用したことがない」と回答した方は、その理由についてお答えください。

1. 要件が合わなくて利用できない      2. 設備の導入を検討している  
3. 設備等の導入予定がなく必要がない  
4. その他 ( )

問7-③ 問7で 2. 知らなかったと回答した方はお答えください。 ←

1. 設備等の導入を検討しており詳しく知りたい      2. 特に知りたいとは思わない

問7-④ 問7-③で 1. 設備等の導入を検討しており詳しく知りたいと回答した方は市から直接説明を求めますか。

1. 求める      2. 求めない

【問8】 貴事業所において、これから環境配慮や脱炭素の活動を進めることを考えたとき、どのようなことが課題であると思いますか。(あてはまるすべてに○)

1. 消費者・利用者が、環境配慮や脱炭素の重要性をより認識すること
2. 取引先が、環境配慮や脱炭素の重要性をより認識すること
3. 従業員が、環境配慮や脱炭素の重要性をより認識すること
4. 広く東御市の個人・企業全体が、環境配慮や脱炭素の重要性をより認識すること
5. 企業同士や業界内のルールづくりをすること
6. 自社が環境配慮や脱炭素に取り組んでいることを広く知ってもらうこと
7. 金銭的なコストを確保すること
8. 人的なコストを確保すること
9. 具体的な取組方法や連携先・協力先などについての情報を得ること
10. 具体的な活動を設計・実施するために必要な技術や知見を得ること

■貴事業所が環境配慮や脱炭素に取り組むにあたって、上記以外に課題に感じていることや、こういう支援があれば取り組みがしやすくなるといったご意見があればお書きください。

以上で、アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。